２０２０年３月期

第２四半期決算概要

2019年11月7日

日本タングステン株式会社

■経済環境

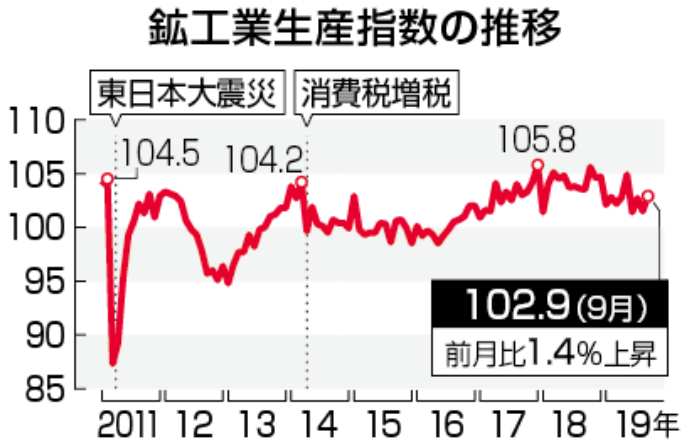
日本タングステン株式会社

海外

米中貿易摩擦の影響により、米国では設備投資の伸び悩みや中国企業の業績悪化等、依然として先行き不透明な状況が続いている

国内

製造業を中心とした景況感の悪化や世界的な保護貿易政策による輸出の減少等、景気の下振れリスクに注意が必要



（2015年＝100、季節調整済み。19年9月は速報値）

（出典：時事ドットコム）

■当社グループの業績等

日本タングステン株式会社

●損益の状況（連結）

（単位：百万円）

	2019年３月期 第2四半期	2020年３月期 第2四半期	対前年比 増減額（増減率）
売上高	6,301	5,711	Δ589 （Δ9.4%）
営業利益	637	267	Δ370 （Δ58.1%）
経常利益	728	351	Δ376 （Δ51.7%）
親会社株主に帰属する四半期純利益	521	267	Δ254 （Δ48.8%）

≪当第2四半期の概況≫

・機械部品事業

前期好調の海外向けNTダイカッターが顧客の設備投資抑制等により低調に推移し、売上・利益ともに悪化

・電機部品事業

売上はほぼ横ばいも、電極製品・EV用接点製品の増収、及びタングステンワイヤー素材のOEM化による製造ライン縮小に伴う在庫の積み増し等もあり利益は改善

・全体では減収・減益

●財務の状況（連結）

（単位：百万円）

	2019年 ３月期 期末	2020年 ３月期 第２四半期	前連結会計 年度末比 増減額
総資産	16，392	16，254	△138
負　債	6，370	6，134	△235
純資産	10，022	10，119	97

≪当第２四半期末の概況≫

・総資産：前期末比、138百万円減少

（流動資産は減少、固定資産は増加）

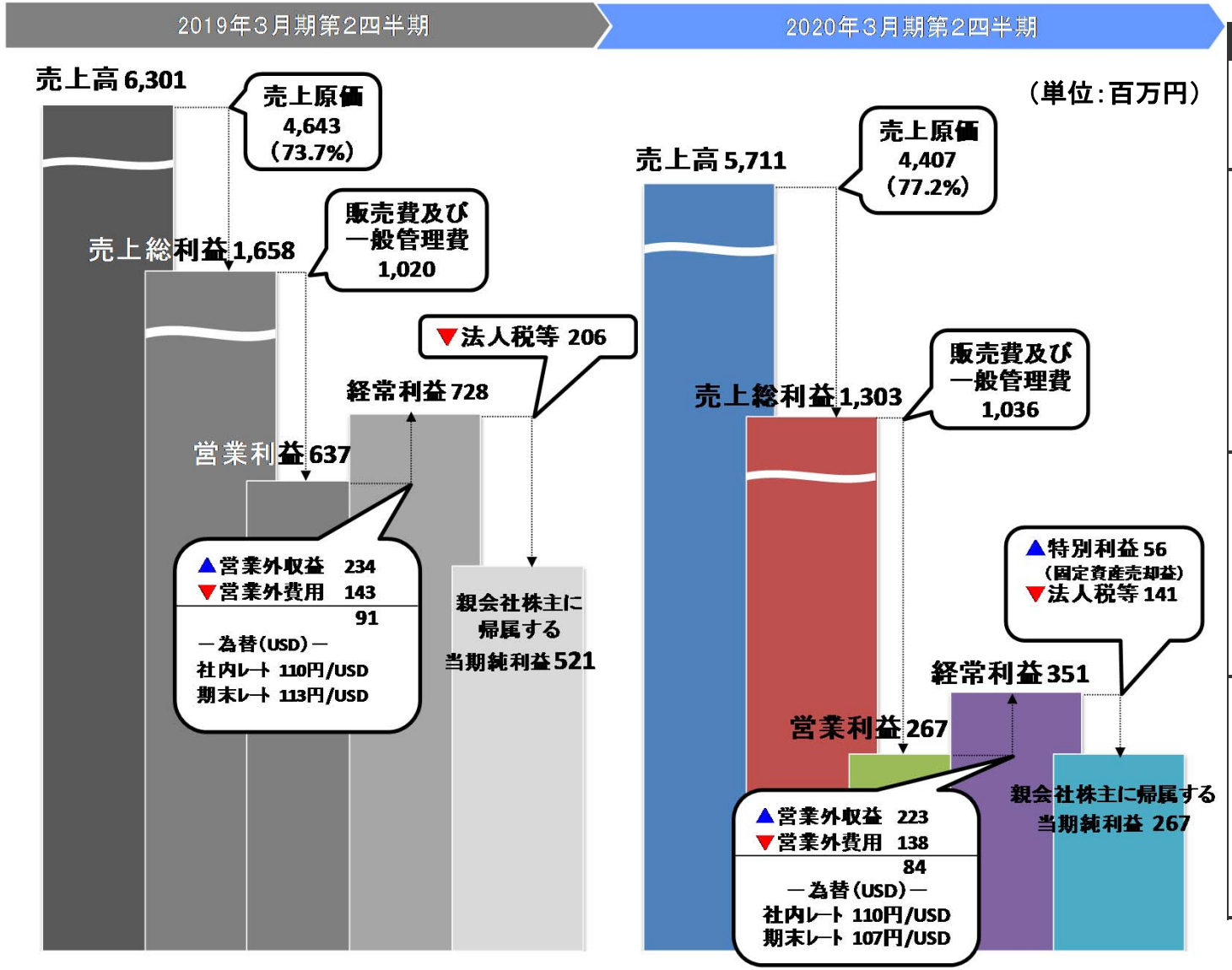
・負　債：前期末比、235百万円減少

（流動負債、流動負債ともに減少）

・純資産：前期末比、　97百万円増加

■損益の概況（連結）

日本タングステン株式会社



項目	要因
売上総利益	売上高の減少により減益
営業利益	製造管理の徹底及び生産効率の向上等による原価低減策に継続して取り組むも、売上高の減少が響き、減益
経常利益	賃貸不動産の計画修繕に伴う費用が減少するも、営業利益の減少により減益
親会社株主に帰属する当期純利益	遊休地の売却による特別利益を計上するも営業利益等の減少により減益

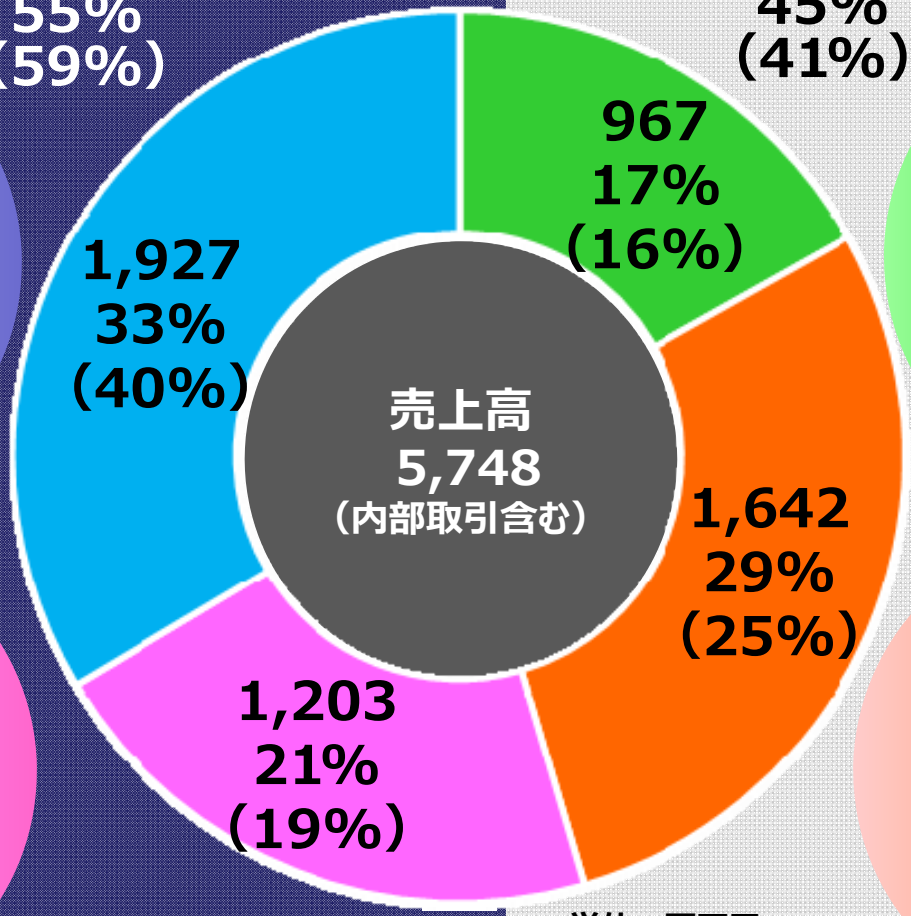
■事業部別売上高の状況

日本タングステン株式会社

2020年３月期第２四半期　セグメント別売上高

機械部品事業　3,130　55%　(59%)

電機部品事業　2,610　45%　(41%)



超硬合金製品

セラミック製品

金属材料製品

電気･電子材料製品

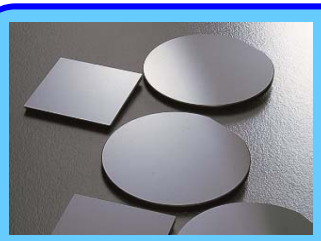
単位：百万円

（　）は前年同四半期の占有比率

■事業部別主要製品の状況

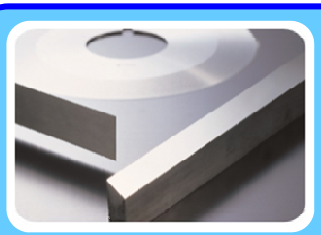
日本タングステン株式会社

機械部品事業



情報機器関連のハードディスクドライブ（HDD）用磁気ヘッド基板
・堅調に推移

衛生用品関連のNTダイカッター
・海外向けが顧客の設備投資の抑制等により減収



液晶関連の治工具製品
・中国市場の需要減により減収

	2019年３月期第2四半期	2020年３月期第2四半期	対前年四半期比
売上高 （百万円）	3，705	3，130	△575 （△15.5%）
営業利益 （百万円）	669	212	△456 （△68.2%）

※売上高はセグメント間の取引を含んでおり、営業利益は全社費用等調整前の金額

■事業部別主要製品の状況

日本タングステン株式会社

電機部品事業

自動車関連のEV用接点製品及び電極製品
・電気自動車市場の拡大を受け増収

タングステンワイヤー製品
・照明関連が減収　OEM化に伴う在庫増により利益増

	2019年３月期第2四半期	2020年３月期第2四半期	対前年四半期比
売上高　（百万円）	2，616	2，610	△6　（△0.2%）
営業利益　（百万円）	238	331	92　（39.0%）

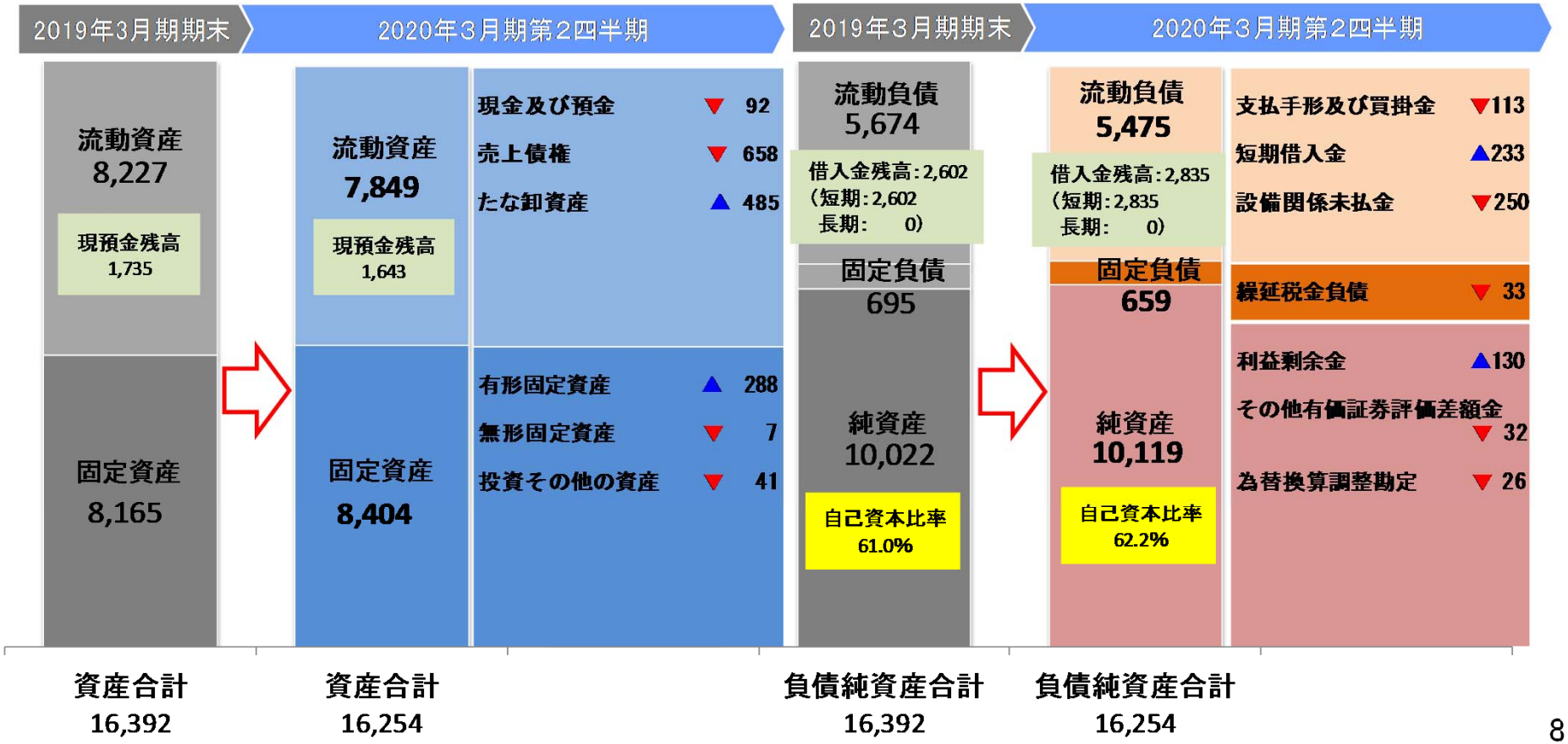
※売上高はセグメント間の取引を含んでおり、営業利益は全社費用等調整前の金額

■財務の状況（連結）

日本タングステン株式会社

（単位：百万円）

科目	2019年３月期 期末	2020年３月期 第２四半期	前連結会計年度末比 増減額
総資産	16，392	16，254	△138
負　債	6，370	6，134	△235
純資産	10，022	10，119	97

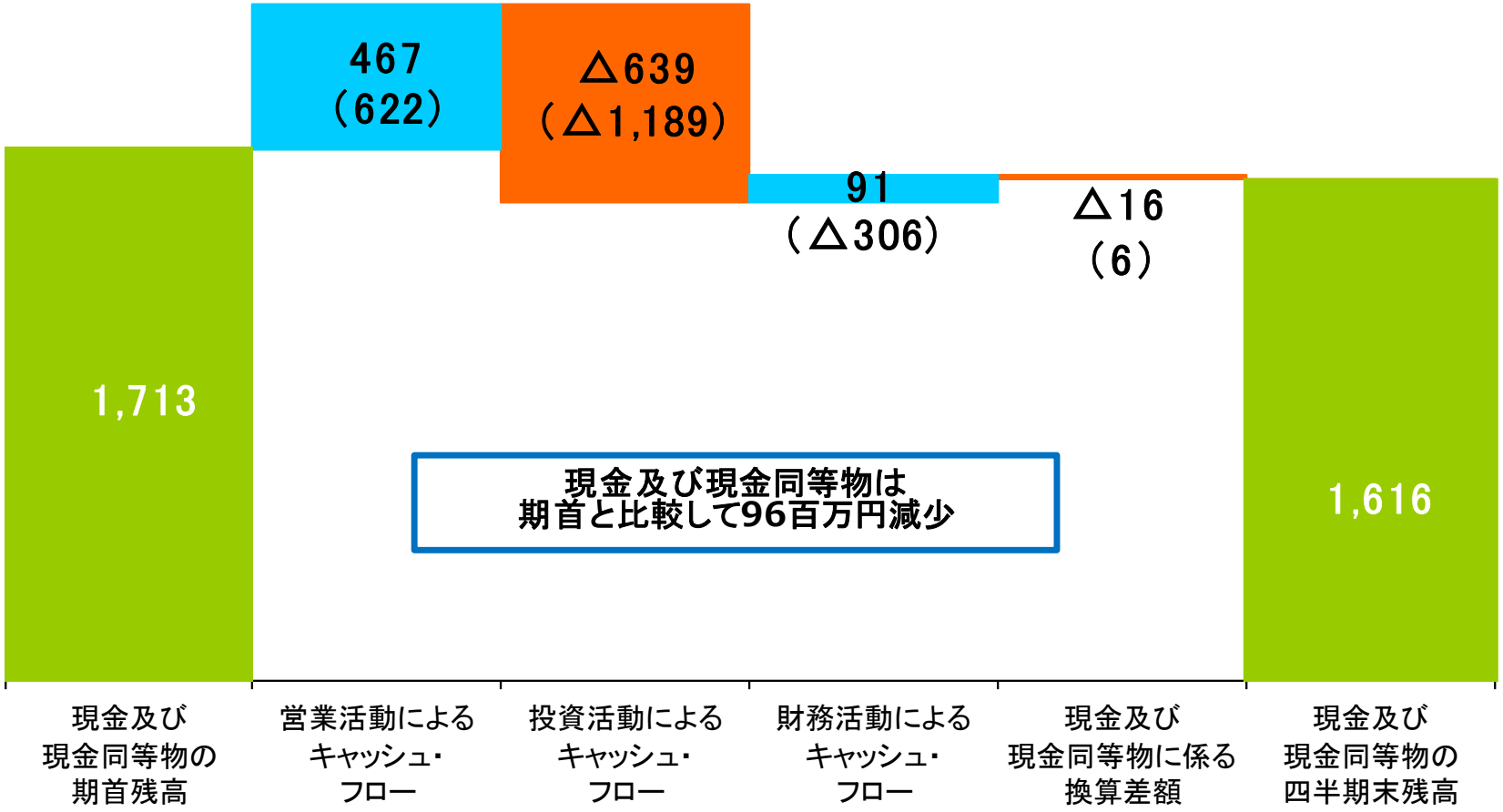


■キャッシュ・フローの状況（連結）

日本タングステン株式会社

（単位：百万円）

2020年3月期 第2四半期



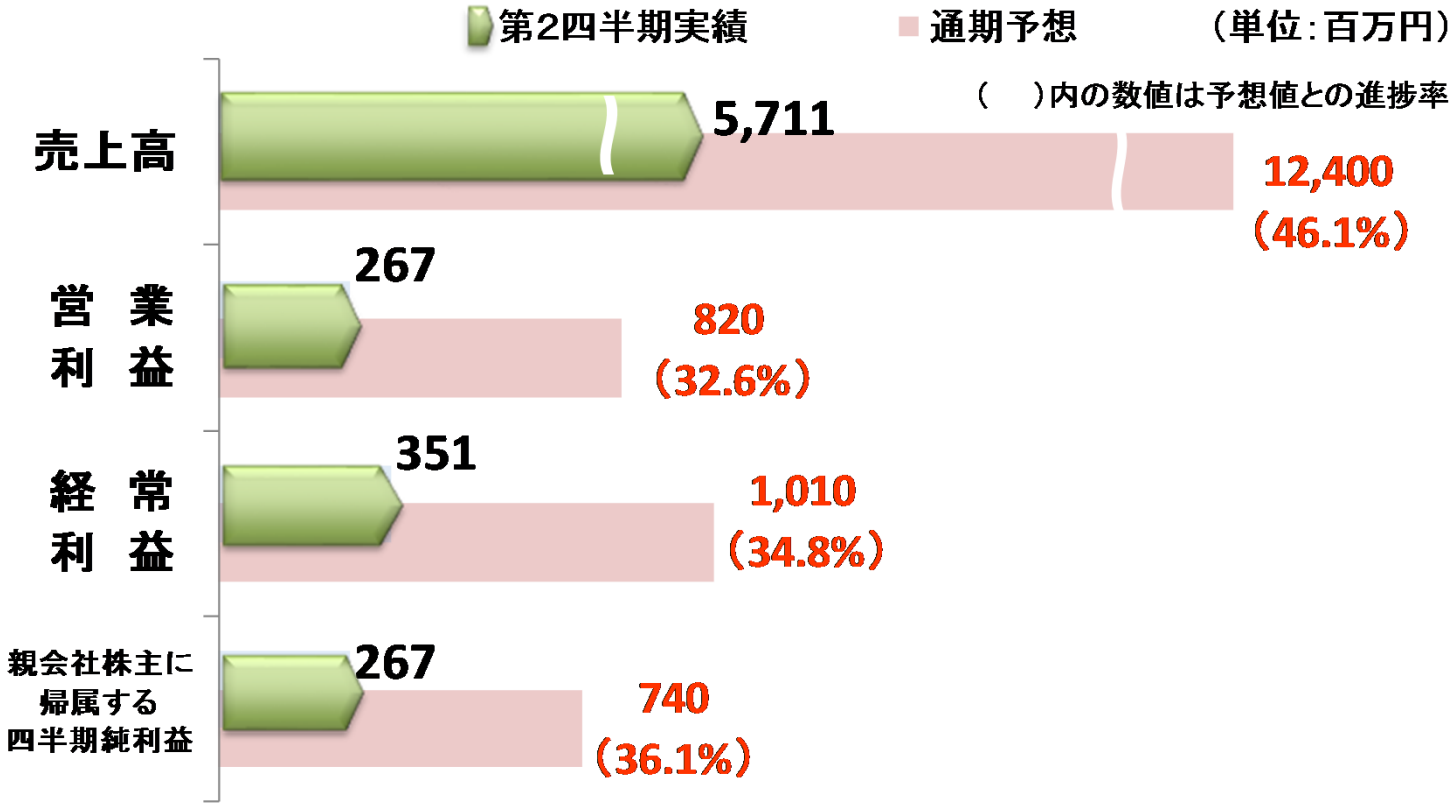
※（　）は2019年3月期第2四半期の金額

■業績予想について

日本タングステン株式会社

今後の経済見通しは、米中貿易摩擦の長期化による米中経済の減速等、先行き不透明な状況が続くと予想
このような外的要因も含め、当社グループの業績については精査中
現段階では2020年３月期の業績予想は据え置く
業績予想の修正が必要となった場合は速やかに開示を行う

連結業績予想数値（2019年5月16日公表）と進捗率



■剰余金の配当（中間配当）および期末配当予想

日本タングステン株式会社

■　中間配当金は40円、期末配当金は45円に据え置く

第２四半期決算は予想より低調に推移しているが、配当方針にある安定的・継続的な配当の観点から、当初の予想どおり１株当たり40円（前期40円）とする。
この結果、年間配当（中間配当１株当たり40円を含む）予想は、１株当たり85円となる。

	2019年３月期 実績	2020年３月期
中間配当金	円 40 銭 00	円 40 銭 00
期末配当金	円 55 銭 00	予想値 円 45 銭 00
１株当たり当期純利益	円 342 銭 80	予想値 円 304 銭 81
配当性向（連結）	27.7%	予想値 27.9%

■ご注意

日本タングステン株式会社

本資料は情報提供を目的とするものであり、当社株式の購入や売却を勧誘するものではありません。

また、掲載されている情報は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が独自に予測したものであり、リスクや不確定な要素を含んでおります。

従いまして、見通しの達成を保証するものではありません。当社の内部要因や当社を取り巻く事業環境の変化等の外部要因が直接または間接的に当社の業績に影響を与え、本資料に記載した見通しが変わる可能性があることをご承知おきください。

投資に関する最終的な決定は、利用者ご自身の判断でなさるようにお願いいたします。